

～みんなで作る10年後のつべつ～

### 第6次津別町総合計画

## 第4回策定委員会を開催



## これまでの協議内容をより深め、具体的な施策化を目指す

町では、政策を総合的・計画的に進めるため、平成32年度を初年度とした「第6次津別町総合計画」の策定に向けて、準備を進めているところです。  
現在は30人で構成される策定委員会、3つの部会（まちひとづくり、住民生活、産業交流）ごとに協議を行っています。その進捗状況は、随時広報つべつでお知らせしていきます。  
今回は、11月7日に開催した第4回策定委員会での協議内容をお伝えします。

#### まちひとづくり部会

- 生涯教育と学校教育の形成
- ①学校教育も子ども園から中学校までは一緒に過ごすので、一貫したことはできないか。
- ②生涯教育の最終的な目標としては、コミュニケーションを進めていきたい。中学校では部活を一般の人が入ってきて教えている。
- スポーツや文化活動の図書館を作る予定であるなら、どういった図書館になった方がいいか。特色ある、津別の図書館に求めなければ見られないというものに特化した本があったり、バー

チャルリアリティー（仮想現実）などの導入をする。

●広報つべつの充実と情報が伝わっていない。広報が後手に回っている。決まったことをすぐ広報で広める必要がある。

#### 住民生活部会

人口を減らさない様にどうすべきか。さらに今ある

ものをどう残して、どう活用して、人口減を止めていくか。それには施設整備、PR、体制づくりが柱となる。老朽化が目立っている建物、住宅、そして空き家など、とにかくきれいにし、有効活用する。そのためのPRと体制強化。

①交通環境と公共交通は基本的に子ども・高校生・高齢者の三者に満足されない人口減少につながる。これを緩和する方法として、町内を循環するバスを走らせるなど利便性を高めると、いろいろな方に使ってもらえるようになる。

#### 産業交流部会

##### ●産業分野の発展

- ①雇用する企業が人材確保に力を入れられるように、法人税など税金を一部カットすることで企業をバックアップ。企業はその分、人を雇い給料を上げていくことで求人も集まり、移住者も増え、企業も新しい取り組みを行っていくことができる。
- ②企業支援賞を設け、年一度企業者に贈り、町が宣伝などのバックアップをする。また外国人受け入れに力を



▲これまで挙げられてきた、町のすばらしいところ、残念なところを踏まえ、具体的な施策としてまとめるための協議が始まった。

●観光の発展  
①知名度アップと津別をPRするため、「インスタ映え」スポットを宣伝するなど、観光そのものより、面白い取り組みで津別を知ってもらおう。  
②財源の確保と津別町の観光でお金を消費していただくという仕組みが必要。町内は釣り場や津別峠展望施設などを有料化することによって財源とし、さらに観光を活性化させていくという仕組みをつくる。

今回の議論では、具体的な取り組みの意見を出し合いました。今後の委員会では、これらをもとに、部会ごとの目標と施策化について整理していくことを目指します。

#### 問い合わせ先

住民企画課企画グループ  
☎76-2151（内線215）

## 製造販売施設「クマヤキハウス」 「道の駅あいおい」に 来年1月オープン予定

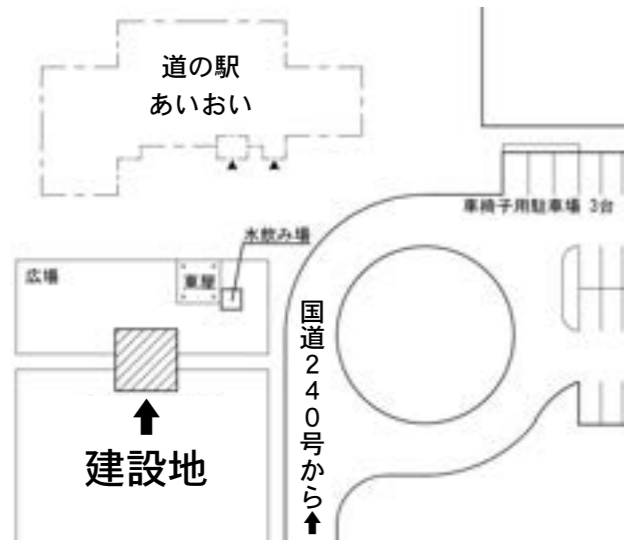


完成予想図。右斜めに東屋、奥に道の駅が見える場所に建てられる。

津別を代表するスイーツ「クマヤキ」。道の駅あいおいで製造販売されているクマヤキですが、現在の製造販売施設を新たに建設中です。オープンは平成31年1月を予定しています。

### 人気スイーツ「クマヤキ」 の新しい製造販売施設

クマヤキは、ヒグマをイメージした形がかわいいと評判になり、テレビなどでも紹介され、今や津別を代表する「特産品」となっています。現在は道の駅あいおいの屋外に設置しているプレハブで製造販売していますが、プレハブが老朽化したことから、現在新たな製造販売施設「クマヤキハウス」を建設しています。



### 道の駅のシンボルとして さらなる観光の発展を期待

このクマヤキハウスが、道の駅あいおいの新しいシンボルとなることで、観光拠点としてより発展していくことが期待されます。

オープンは来年1月を予定していますので、お気軽に足をお運びください。

#### 問い合わせ先

産業振興課 商工観光グループ  
☎76-2151  
(内線315・258)

